

看護

しずおか

KANGO SHIZUOKA

vol. **3**
平成26年度

•未来の白衣の天使たち P4・5

•お仕事拝見
人生のパートナーでありたい! P6・7

•先人に聞く 忘れられない看護
走馬灯〜今…思い出すまに〜 P3
(最終話)

ダブルダイヤモンド富士(田貫湖)

会員数 19,099名(平成26年9月9日 現在)

•保健師	531名	•看護師	16,862名
•助産師	734名	•准看護師	972名



公益社団法人 静岡県看護協会

静岡県看護協会

検索

[静岡県看護協会]
お気軽にご利用下さい。



平成26年度 第1回定時理事会報告

■開催日時 平成26年5月20日(火) 14:00～16:00

■会場 静岡県看護協会 第1会議室

出席理事:17名、欠席理事:3名 定款第38条に基づき、定足数10名を満たしていることを確認

出席監事:3名、欠席監事:なし

1.協議事項(すべての事項について承認される)

(1)平成25年度事業報告(案)について

(3)職能委員の補欠候補者について

(2)平成26年度定時総会議案について

(4)公益社団法人静岡県看護協会訪問看護

ア 議案第1号 平成25年度決算書(案)及び監査報告

ステーション運営規程の一部改正について

イ 平成27年度 日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員選挙

ウ 役員補欠選挙

2.報告事項

(1)平成26年度静岡県委託事業の受託について

(4)認定看護師教育課程運営検討委員会について

(2)平成26年度定時総会静岡県看護協会会長表彰について

(5)公益社団法人静岡県看護協会研修受講料等

(3)関係機関、関係団体の役員、委員の就任について

徴収内規の一部改正

平成26年度 第2回定時理事会報告

■開催日時 平成26年7月15日(火) 14:00～15:00

■会場 静岡県看護協会 第1会議室

出席理事:17名、欠席理事:4名 定款第38条に基づき、定足数10名を満たしていることを確認

出席監事:3名、欠席監事:なし

1.協議事項(すべての事項について承認される)

(1)平成26年度事業報告について

総務部・教育研修部・事業部

2.報告事項

(1)関係機関、関係団体の役員、委員の就任について

(5)会員入会の申請状況

(2)平成27年春の叙勲・褒章候補者の推薦について

(6)平成26年度自殺予防週間にかかる総合相談会

(3)第43回医療功労賞候補者の推薦について

受諾について

(4)平成26年度定時総会提案に対する対応

(7)その他

「平成26年度 静岡県看護協会新入会員研修」終了

5月21日(水)から8月11日(月)までの期間に東部、中部、西部の6か所で新入会員研修を開催しました。

どの会場でも募集人数80名を上回る応募者があり、熱気あふれる研修会となりました。

研修の目的は①看護専門職能団体の組織・活動を理解し、加入(会員であること)の意義が分かる②仲間とともに看護職能人としてキャリア発達を目指す自分づくりの機会とする



先輩の話に耳を傾ける

グループワークテーマ

「看護職能人として、これからの“自分づくり”のために、今日の仲間と見つけたこと」



グループワーク

③同世代の新人看護職と交流を深め、ネットワークをつくる。

先輩看護師の「私の看護、新人看護師に伝えたいこと」の話は、聞き漏らさないようにと必死に耳を傾けていました。自分も頑張ろうという気持ちにさせてくださった先輩看護師の皆様、ありがとうございました。研修生全員が、看護職を一生の仕事としていってくれるのではと思っています。

先人に聞く 走馬灯 ～今…思い出すままに～ [最終話] 第6回

忘れられない看護 山城せい

Vol.2(7月号)に引き続き山城せいさんのインタビューをお届けします。



家庭分婉もなくなり・・・

長い間の助産婦の仕事は家庭分婉がなくなって、みんな施設分婉になってしまったので、助産婦の仕事がなくて暇になってしまいました。

自分の家を改造して助産所にする人もできてきました。金谷でも同業者が相談して、母子センターを建ててもらうように町会議員の人や役場に何回もお願いに行きました。

ほどなく助産婦会も退会し、何もかもやめて楽になりました。それから姉と一緒に老人クラブの旅行に行ったり、助産婦仲間や三男家族とも旅行に行きました。

年老いたので身体も弱くなり何度も病院に入院しては皆さんの厄介になりました。

ねたきり老人になりたくない、ぼけ老人で自分がわからないようになりたくない願ってはいますが、人間はいつどうなるかわからないです。でも自分なりにそうならないようにと努力はしているつもりです。教会も、島田の日本キリスト教会に席を置くようになりました。

わらおうかい 月1回の楽しみの和楽翁会

毎月1回の和楽翁会には楽しみにして行っております。和楽翁会は夫が友人たちと集って自分たちでご飯を炊き、自分たちでおかずを作り、色々話をしながら昼食をするのを楽しんでいた会です。お米を持ってくる人もあれば、鶏をさげてきて料理する人、野菜を持ってくる人また豆腐や油揚げ、かまぼこを買ってきて、自分達でとり飯を炊いたりして食べて、一日楽しく過ごしていました。

近頃は、老人ばかりで自分達で料理するのは大変ですから、出前にしてゆっくり話し合っ楽しんでようになりました。

夫が亡くなってからは三男が月1回老人たちを集めて和楽翁会を続けています。会員は、皆80歳以上になってしまいました。一番年長者は、明治25年8月15日生まれの満98歳です。

この会は何もかも自由で話したいことを話して楽しむ会です。色々な話が出てきます。世間話、笑い話、たぬきの話からきつねの話、いろいろな伝説・健康から栄養の話・戦争の話・世界の情勢・歴史・政治・選挙の話、様々です。私はいつも黙って聞いているだけですけれども



●夫と共に



●家族と共に

とても面白く勉強にもなります。

大正7年の夏の米騒動の話も時々でました。私も小学校時代のことでですから思い出します。夏の暑い晩でした。日本国中各地で一気に米騒動が起こったのです。お米の値段が高くなりすぎて庶民が各地で一気に暴動を起こしたのです。大金持ちやお米屋の家に火をつけて焼き払うというのです。混乱の中を面白半分て走り回っていた人も大勢あったそうです。私は自分の学用品をまとめて火事が近くまで燃えてくるようならすぐに逃げられるように用意をして家の中に居りました。その時の内閣は辞任されたそうです。こうした昔起こった話も出てくるのです。

和楽翁会は私と同年輩の人からそれ以上の人です。皆健康で頑張っているの、ひと月に1回出席してみなさんと顔をあわせるだけでとても励まされます。

命のある限り平安な楽しい日々を送りたいと思っています。



●百歳の祝い

山城せい様(享年107)は、平成26年7月17日ご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

未来の白衣の天使たち

その1



静岡県立大学短期大学部
青木 麻衣子 3年

- ①看護とは、対象者がその人らしく生きていくために必要なニーズを把握し生活者としての日常を支援することである。そのため看護の原則である正確な知識と技術、豊かな感性、患者の本質を見極める能力を養う必要性。
- ②医療の発展に伴い、看護の知識や技術も高度化・複雑化し、ケアに関わるニーズも多様化・個別化され、質の高い看護が求められている現状で、医療ではなく患者中心の温かい看護を提供している場で働きたい。
- ③高度化する医療現場において、看護師の労働環境は個に対する負担が大きい。実習を通して看護師は日々行われている看護を評価・発展させ質の高い看護を目指し、自己の成長のために研鑽している。この姿に誇りを感じた。



沼津市立看護専門学校
安部 玉青 3年

- ①同じ目標に向かって共に助け合う仲間がいることの大切さです。実習では辛く、涙をこぼす事もありました。そんな時に支えとなり励ましてくれた、グループメンバーや友人は私にとって大切な存在です。
- ②看護職の働く医療現場は著しく発展しており、日進月歩の世界とされています。職場全体が、積極的に新しい知識を吸収しているとする姿勢を持ち、互いに高め合えるような病院で、私は働きたいです。
- ③働く看護師さんは素敵です。多忙を極める職場でも、決して笑顔を忘れず患者さんと接する姿は、とてもかっこよく、憧れます。実習中はいつも学生にたくさんのアドバイスを下さり、ありがとうございます。



常葉大学
石川 史乃 2年

- ①看護についての知識や技術はもちろんですが、私が学んだことは看護師としてのやりがいです。実習の時、受けもたせていただいた患者様に未熟なケアをしてしまったにも関わらず、最終日に「ありがとう」と言ってもらって本当に嬉しかったです。
- ②私の祖母が、地元の病院に検査のためですが入院していたことがあります。その医療従事者の方々は、フレンドリーでとても親身になってくれていました。だから、私も患者様と医療従事者が対等に話し合えることができるようなところで働きたいです。
- ③私は患者様にとって身近な存在としての看護師になりたいです。患者様は病気を抱えていて、不安や恐怖がたくさんあると思います。だから看護師としての仕事はもちろんですが、それらを少しでも取り除けるようななんでも話してもらえるような看護師になりたいです。



静岡県立大学看護学部
今村 亜未 4年

- ①4年間で印象に残っていることはやはり臨床実習です。私は、患者さんやご家族の気持ちに寄り添うことを大切にしたいと考えています。そのために、患者さんが思いや気持ちを表現できる存在でいることが大切であると、実習で学ぶことができました。
- ②患者さんやご家族はもちろん、スタッフも大切にされている病院が理想です。また、将来はがん看護専門看護師を目指していますので、自分の努力次第でキャリアアップができるシステムのある病院に勤めたいと考えています。
- ③看護師として働くことへ不安や緊張も多くありますが、患者さんの生きようとする思いを支えられるように頑張りたいと思います。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。



静岡市立清水看護専門学校
神谷 すみれ 3年

- ①実習で脳梗塞のため右麻痺の患者さんを受持ち、麻痺側を使った援助を試行錯誤しながら考えました。このことが、患者さんの麻痺の理解や積極的にリハビリに取り組むことに繋がり、患者さんの笑顔やありがとうの言葉を頂いた時はとても嬉しかったです。
- ②看護師の姿を見ているだけで患者さんの苦痛が軽減して元気になれるような明るい雰囲気をもつ看護師がいる所で働きたいです。
- ③時に厳しく、時に優しく先輩方にご指導いただきながら、自分でもいろいろなことができるようになりたいです。国家試験に合格できるよう頑張ります。



富士市立看護専門学校
杉浦 由莉 3年

- ①精神科の実習中、学生と距離をおいていた患者さんと関わった時、授業で「自分の思いを素直に伝えることが患者との信頼関係を築く第一歩」と学んだことを思い出し、構えずに自分の思いを素直に伝えたところ、距離を縮めることができ、とても印象に残っています。
- ②実習をしている中で、患者さんを大切に、思いやりのある声かけをしている看護師さんの姿を見かけます。このように、患者さんが過ごしやすい病院で働きたいと思いました。
- ③患者さんの僅かな反応にも気づいて対応する姿、安心できる声かけをする姿、このように看護師さんが常に患者さんの心に寄り添う姿に日々感動しています。そして、多くの知識と技術を学生に教えてくださり、感謝しています。

未来の私達の仲間になる県内養成施設の看護学生23名に、学生生活の今と将来について感じていること考えていることを聞いてみました。

質問内容

- ①看護学校で学んだことについて印象に残っていること
- ②こんなところで働きたい
- ③看護師にひとこと



注射の実習(常葉大学)



JA静岡厚生連するが看護専門学校 杉山 紗恵 2年

- ①実習では、学内だけでは学ぶことができない病院の様子を見たり様々な患者様にお会いすることができました。授業に加え実習することで改めて、疾患についてや患者様への援助方法をよりよく知り学ぶ機会をいただきました。
- ②私は患者様一人一人の希望にできる限り近づいた援助を行いました。また、大変でも忙しくても笑顔を忘れない、患者様に気を遣われない環境で働きたいです。
- ③私たちは日々学習を行っていますが、まだまだ分からないことは多いです。残りの学校での学びを充実させ、看護師として立派に働けたらと思います。どうか厳しくも温かいご指導よろしくお願いします。



静岡県厚生連看護専門学校 鈴木 里帆 3年

- ①実習で、友人に会えず、親も付き添うことができなく、ストレスが強く、活がなく、食べれない状態の患児がいました。私は、一緒に遊ぶ、不安時付き添うしかできませんでした。看護師は患児の気持ちを表情や行動からアセスメントして親と話し合う機会をもち、患児の気持ちを代弁した看護を実践していました。これが看護だと感じ、強く印象に残りました。
- ②患者の思いを汲み取るような看護や、その人らしく過ごせる配慮、何よりどんなに忙しくても、笑顔で患者さんに元気を与えることができる看護師がいる病棟で働きたいと小児実習で思いました。
- ③看護師として至らない点、不足点に気づけないことが多々ある私たち学生ですが、気づいた時にはご指導いただけると、改善すべき点に分かり成長できると思うので、ご指導よろしくお願いします。



静岡済生会看護専門学校 中島 瑠威 3年

- ①実習中、脳梗塞で入院された患者様が懸命にリハビリを行い日々回復する姿に感銘をうけ、支えとなれたことを嬉しく思いました。看護師は患者様の回復を支え、また懸命な姿に支えてもらえる素敵な職業だと感じました。
- ②緩和ケアについての講演を聞き、終末期看護に興味を持ちました。将来は、緩和ケアも学んでみたいです。教育が充実した職場で、様々な知識や技術の向上を図り自分自身も成長していきたいと考えています。
- ③済生会の理念である「施薬救療」の精神で誠実に患者様と関わっている看護師の方々の姿をみて、さらに看護師への憧れが強くなりました。講義や実習中の指導をいただけることに感謝の気持ちを忘れず頑張っていきます。



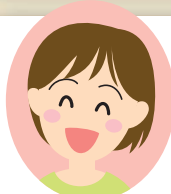
組合立静岡県中部看護専門学校 堀田 桃子 2年

- ①看護実習では、最初は患者さんとうまく会話ができず、受け身になっていました。しかし、周囲の支えにより、思いや訴えを真摯に受け止め理解しようと努力しました。すると、患者さんの僅かな変化を感じ取れるようになりました。
- ②高齢化が進む今、私の住む地域にも多くの高齢者がいます。時代を築いた尊敬すべき人、自身が幼い頃からお世話になった温かい存在として、私は感謝の気持ちを込めて、地域の高齢者を支えていく立場で貢献したいと考えています。
- ③私は、忙しく時間がない中でも患者さん一人ひとりと向き合い、丁寧な看護をしていく看護師を目標にしています。実習で出会った目標のナースと、いつか同じ現場に立てるよう頑張りたいと思います。



順天堂大学保健看護学部 三橋 玄太 4年

- ①私はこの4年間の中で、実習でお世話になった患者さんや看護師、共に学びを深めてきた仲間や先生等、数多くの人と関わりたくさんの笑顔を見てきました。その人たちの笑顔の一つ一つが今の私の看護観の源になっています。看護技術はもちろんのこと、人の心の温かさを学びました。
- ②私は母性看護学実習で新生児に対して興味を持ち、将来はNICUで看護をしたいと思っています。男性からの視点で母性領域というものを捉え、父親へのアプローチや父性に対しての考えをさらに深め、母性看護の発展に貢献していきたいと思っています。
- ③実習では看護師の皆様からご指導を頂き、数多くのことを学ばせて頂きました。まだまだ未熟な部分が多々ありますが、実習での学びを活かし、国家試験に向けて勉学に励んでいます。将来、皆様と同じユニフォームを着て、看護師として働くことができる日を楽しみにしています。



JA静岡厚生連するが看護専門学校 山崎 絵美 2年

- ①実習の場面では、座学では学べない貴重な体験をすることができました。実際に患者様を受け持たせていただくことで、この患者様に必要な看護は何かという、看護において大切になる個別性について大きな学びを得ました。
- ②患者様が笑顔でいられる場所です。心身に苦痛を伴う病院において笑顔が見られるということは、看護の力が発揮されているという証だと感じます。そんな場所で私も患者様に寄り添った看護を行いたいです。
- ③実際の現場で活躍される看護師の皆さんを見て、より一層看護という職への憧れを強くしました。私も皆さんのように、現場に居続けることのできるよう、生涯学び続ける看護師になりたいと思います。

お仕事拝見

第5回

看護の知識や資格をいろいろな分野で生かしながら、第一線で活躍している方々のお仕事を、ちょっと拝見してみます。

人生のパートナーでありたい

今回は、島田市の静かな山あいにて、ご主人(夫)と二人三脚でグループホーム「郷(さと)の家」を開設(平成15年)した神吉(かんき)久乃さんにお話を伺いました。



看護師、介護支援専門員、
認知症ケア専門士、
バリデーション・ワーカー

神吉久乃さん

開設のきっかけ・・・

訪問看護とケアマネをしていた私は、退職間近の夫から「何か事業を起こしてみないか」と相談された。その時脳裏に浮かんできたのは、以前観たスウェーデンのグループホームを紹介するドキュメンタリー映画だった。美しい庭に囲まれた北欧の家、その人らしい素敵な部屋、そこに笑顔で集う人々。何より惹きつけられたのは、入居者とそこで働く人たちとの関係がまるで家族のようだったこと。ケアする時もくつろぐ時も一緒、いつも入居者の傍らに寄り添い「大切に想っているよ」と・・・私にもその思いが伝わってきた。当時の私は認知症に対する

理解も少なかったけど、この映画を見てとても感激して、グループホームこそ認知症介護の「理想の場」と思った。

夫から話があったのは、その映画を見てから10年近くたってはいたけど、あの時受けた感動を思い出し、今までの自分の経験を生かして「あの映画のようなケアを・・・」と思った。それが原点。



▲郷の家の外観

“普通の家”を目指して・・・

「郷の家」は民家を増改築したもので、外見は普通の家とほとんど変わらないけど、ケアマネ時代の知識を役立てて高齢者が生活しやすい造りにした。開放的で明るく、入居者、職員ともに動きやすいホームとなっている。環境的にも恵まれていて、自然が豊かなことも勿論だけど、一番いいのは、近所の人達に野菜やお花をいただいたり、世間話をしたりと温かい交流があること。それから、保育園との交流では孫や曾孫の世代と、さらに、毎日買い物に行くスーパーでは、様々な年代の人との出会いがある。沢山のひととふれあうことで地域の一員だと感じられる。それが、入居者にとって安心感や楽しさ、嬉し

さにつながっていると思う。郷の家は“普通の家”で、入居者はそこに暮らす“普通の人”と言うことを目指している。当たり前前の家の暮らしに近いことが大切だと思っている。

入居者は9人(定員9人)で職員は13人。夫は経営が中心、私は管理者だけど看護・介護・ケアマネとして現場に入っている。他のスタッフは、介護福祉士3人、ヘルパー8人で平均年齢は50歳以上。家庭生活のベテランで、入居者の生きた時代や気持ちが解るというのが採用時に意図しているところ。ケアする人は入居者の子供に近い年齢というのがいい、話が解りあえるから。

入居者のパートナーとして・・・

「郷の家」は“認知症高齢者の尊厳を守り、人生のパートナーとして支援する”という考え方を理念に挙げている。そのために私たちは、共感的態度(バリデーション)で接し、ケアは「快」の感情で終わらせ(尊厳の保持)、自主性を尊重するということを常にこころ掛け、入居者一人ひとりと共に歩むケアパートナーになるよう努めている。

人生の最終章を生きている入居者を、十分知らなければ家族に替わるパートナーとしての役割が果たせない。現在の状況だけでなく生育歴、生活歴、職歴、家族関係など過去の状況を知ることによって多くの時間を費やしている。特に重要なのは、その人にとって“解決できていない人生の課題は何か”ということ。これが解っていると認知症のケアが見えてくる。その人の事を十分理解すれば支援の内容がしっかりして、その人の人生に寄り添うことができる。

ここでの生活が10年に及んだ方がいた。教えてもらった事や思い出が計り知れないほど沢山ある。亡くなられた時、家族と一緒に職員全員で静かに別れをした。その方との今までを振り返って、私達はパートナーとして十分だったろうかと自分に問いかけてみた。その人は最後の時まで自分らしく生き、私達もその人の生き方をささえる毎日のケアができた・・・と思った。達成感と満足感でいっぱいだった。

私は、日々の生活に携帯電話が放せない。夜中に呼び出される事もしばしばあるが、特に嫌ではない。そこには仕事に伴う責任や義務だけではなく、家族に対するような“情”が入ってくるからだと思う。入居者が入居時より認知症が良くなっていったり、家族から喜びの声を聞いたり、とにかく毎日楽しいことが多い。生活の中での入居者との関わりが楽しい。

医療・看護・介護の連携・・・

グループホームの設置基準には看護師の配置義務はない（看護師がいることで医療連携加算がとれる）。だから、看護師が“いなければならない”ということはないが、現状では高齢化と重度化が進んでいて医療的依存度は高くなっているのので、“看護師がいないと困る”と思っている。特に終末期は・・・

郷の家の主治医は地域の内科医師にお願いしている。月1回の定期往診はもちろん電話相談にはいつでも応じてくれるし、臨時に往診を依頼しても、夜でも休日でも何かあると直ぐに対応してくれるのでとても心強い。

終末期には医師とスタッフや家族と一緒に話し合いの場を持って、綿密な連携をしている。今までに9人の方を“みとる”ことが出来たが、医師のバックボーンがあってこそ・・・と感謝している。

安心して仕事ができる基盤があるということは、グループホームを続けるうえで本当に大きい。



▲食後の団らん（紙芝居）

バリデーション・ワーカー・・・

認知症の人が何を望んでいるのか、何を訴えているのか、行動の裏にある理由をもっと深く知りたいとさまざまな模索をする中、出会ったのがバリデーションだった。これは、共感と敬意を持って接することで信頼関係を築き、相手の尊厳を回復するための手助けをするもの。自分の心を空にして相手の心の世界に入っていく手段。認知症の人が持っている喪失体験から生じる様々な言動や感情を理解し共感することで、その人と心を通わすことができる。老年期は喪失体験がたくさんある。でも普通は喪失体験があっても、それを受け入れることができる。さみしさに立ち向かえる。でも、喪失のなかで“いやだった、つらかった”などの感情をうまくだせずに、ため込んでしまうと課題が残る・・・

仕事柄いろいろな勉強をしてきたけど、バリデーション講座は

ど充実し収穫のあったものはなかった。1年半の講義と実習、レポートの提出、実践ビデオの提出、そして試験と厳しいものがあつたけど、ワーカーとなったことは、仕事上での大きな支えになっている。毎日の生活支援や介護だけでなく、心のため込んできた負の感情に共感し、吐き出し、解決して行けるような精神的ケアがバリデーションワーカー（人生のパートナー）としての役目。

人として最後の自己実現、統合に向かって一生懸命生きている高齢者のお手伝いが出来たらと思う。



▲廊下のお花と壁掛け

全人的看護・・・

学生の頃、全人的な看護をしないと教えられた。卒業して総合病院で働いていた時は、自分なりに患者さんを全人的にとらえていると思っていた。今考えると、未熟で経験不足だったと思う。病院は治療が目的の一時的な場所だから、全人的看護（支援）は無理だし、できないのが当然。日常生活の中で提供する看護こそが全人的にかかわれるものだと考えている。

看護を受ける側にとって、その人らしさやその人の人生は、

生活しているその場所にある。その生活する場所で、看護する側の人間性や人生経験、生き方が互いに共鳴し合うことで、素晴らしい看護になるのだと信じている。

今は看護師の働く場が増えている。病院での看護で培ったものを基に、全人的に関わる。自分がそれまでの人生で得てきたものを生かして看護ができる高齢者介護の分野においても、多くの方々が活躍することを期待したい。

<取材を通して>

周りは、山や田んぼに囲まれた幼いころの原風景。そんな中に建つ郷の家は普通の民家の趣です。玄関を開けると、各部屋の前にはおしゃれな名札、可愛いお花もあちこちに飾られています。

入居者の皆さんの明るい挨拶と穏やかな笑顔は「この方が認知症？」と思うほど・・・。入居者一人ひとりに対する“愛情と熱意に支えられたケア”を垣間見させていただきました。

私もこんな処で老後を送りたい・・・と思わせる「郷の家」でした。

読者の広場

潜在看護師への積極的なアプローチをお願いしたいと思います。看護師確保はこの病院も、大きな課題となっています。

がんばっている人がいると思うと自分も頑張れます。いろんな情報を楽しみにしています。静岡県の看護師は全国一働きやすい環境ですと言えるようになりたいです。

募 集 し ま す

募集1 「看護しずおか」表紙

看護しずおかの表紙を飾る写真を募集します。

テーマ：看護のある風景（家族など看護職でなくても結構です）

募集2 読者の広場

皆さんに知らせたい、知ってもらいたい「活動」や「意見」などなんでも結構です。写真などもご自由に投稿してください。

募集3 クイズ

クイズの問題を募集します。どんな内容でも結構です。

皆さん、どしどし応募下さい。お待ちしております！
詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.shizuoka-na.jp/>





ゆみげたとして
弓桁淑子さん

ありがとう訪問看護師さん!

看護職の姿は患者さんなどにどのように映っているか…。自分達の姿を知る鏡として、これから順次、看護職をよく知る方々にお話を伺っていきます。

第2回目は、訪問看護を活用しながら在宅介護をしている弓桁淑子(67歳)さんに日頃感じていることを伺いました。

訪問看護師との出会いは?

毎週水曜日の10時になると「こんにちは〜!」と素敵な笑顔で訪問看護ステーションいわたの看護師さんが母を訪ねてくださいます。今年92歳になった母と同居して12年。母は認知症があるものの、ずっと元気で「今、私にできることで人様のお役に立ちたい。」と、毎日お雑巾を縫い、幼稚園・保育園・施設等に寄贈していましたが、一昨年前から急に体力が落ちて、一時は寝たきりになってしまいました。

要介護認定を受け、訪問看護師さんのお世話になって一年半。一週間に一度、血圧測定、心音、体温、脈等を調べ、体に変化が無いかと丁寧に観察し、手足を動かす体操を指導してくださいます。



お雑巾を縫っている母

看護師が訪問した時の様子は?

看護師さんたちはみんな優しく、毎朝自分で髪を結び、指輪をはめて白いエプロンをかけている母に「きみ子さん、指輪が素敵!」「エプロンがよく似合いますね!」と、とびきりの笑顔とほめ上手で母に接し、季節の移り変わりや楽しい話題を探し、若い頃の思い出や得意だったこと、大切なものなどを上手に聞き出してくれます。母は、少女のように嬉しそうにはにかみ、若い頃の写真を見せながら、父との出会い、はつらつと家事をこなし、3人の子どもを育ててきた、幸せな昔の思い出を語ります。看護師さんが来てくださった日は、一日中ニコニコと機嫌が良いです。お気に入りのエプロンを探して「何かお手

伝いすることない?」と聞くこともあります。

介護者にとって訪問看護師は?

これまで、泣いたり笑ったり戸惑いも多かった介護の日々だったのが、看護師さんたちの優しいこころ配りと笑顔、体調管理、的確なアドバイスのおかげで私も介護に対する不安が無くなり、心にゆとりを持って母の世話をすることができるようになりました。

5月に母の容態が急に悪くなり、ベッド上での生活を余儀なくされました。毎晩母の傍につききりで、夜中には息をしているだろうか確認したり、このまま家で看ることが母にとって本当にいいのだろうか悩む日々が続き、苦しくなってしまうこともありました。そんな時、訪問看護師さんから「疲れたら足浴をするといいですよ。」と教えていただき早速、庭のハーブを摘んで足浴をしたところ、これまでの張りつめた緊張が少し緩み、今まで「頑張らなければ…」と頑なになっていた自分の心が見えてきました。なぜか涙が溢れ出しました。

訪問看護師さんは、母にとっても介護者の私にとっても本当にありがたい存在です。

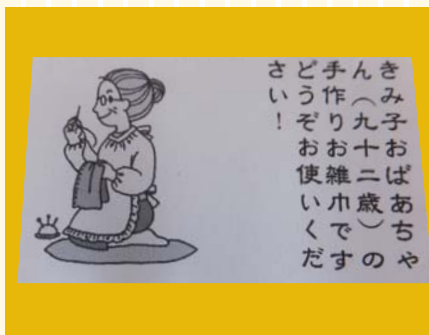
最後にひとこと

健康管理だけでなく、92歳の母に長生きすることの喜びと、元気を与えてくださる看護師さん。母は「私の人生、後悔がないからいい。今どこも痛いところもなく、安心していられるから幸せです。」と喜びます。

安心・安全な在宅介護をサポートしてくださる訪問看護ステーションいわたの皆さんに、心から感謝の毎日です。



訪問看護師さんとともに



お雑巾シール



私と母

働きがいのある職場づくり 研修会 ～職場の管理者が創る看護のやりがい～



静岡県看護協会働き続けられる職場づくり委員会主催で中島美津子先生をお招きし、7月5日(土)に「職場の管理者が創る看護のやりがい」をテーマに研修会が行われました。看護管理者として組織の魅力づくりについて主に講演いただき、自分が活き活き働き続けられるキャリアデザインについて演習をしました。

～働きがいと働きやすさ～

- 1.人生は自分で創る
- 2.今、幸せを感じる
- 3.「できるかできない」ではなく「する」か「しないか」
- 4.みんな正しい それを受容するかしないか

幸せは自立と受援力

看護のやりがいを創るために看護管理者に求められること 組織を動かすプロセスは看護計画と同じ

- ・成果をあげる組織づくり
- ・人を幸せにするのは自分の幸せから
- ・管理職は待っていてもダメ、情報を取りにいく
- ・“お互いさま”精神を大切に認め合う風土づくり
- ・自分の価値観はいったん置く
- ・相手の価値や判断はどこにあるのか考える
- ・自律、認める、尊敬しあう折り合い力



静岡県看護協会 働き続けられる職場づくり推進委員会

訪問看護師養成講習会(訪問看護eラーニング※活用)8月1日開講しました!

医療ニーズを併せ持つ要介護者等の増加や、国の政策から在宅ケアへの移行が進められている中、訪問看護への期待がますます高まっています。この講習会では、社会のニーズに応じて継続した在宅での療養生活を可能にするために、質の高い看護サービスを提供できる訪問看護師の育成を目的としています。

平成21年度から始まったeラーニングの学習方法を取り入れてから6年目になりますが、平成元年から始まった訪問看護師講習会の修了者と併せて1,125名が当会の講習会を修了したことになります。

本年度の受講生は42名。勤務先を見ると、訪問看護業務に携わっている方は26名、訪問看護業務以外の方が15名おり、病院・診療所、特別養護老人ホームや教育機関等からの受講生です。



第1回目の集合教育は、「地域包括ケアにおける訪問看護師の役割」をテーマに望月会長より講義がありました。

午後からのグループワークでは、「問題に思っていること、悩んでいること、解決したいこと」をテーマに、訪問看護師としてまたそれぞれの立場から、貴重な体験や考えなどの意見交換の場となりました。

平成27年1月22日まで続きますが、閉講式にまた同じ顔がそろう事を願いながらスタートしました。

※注：インターネットを使って、パソコンの画面を見て学習する方法。仕事や家事など自分の生活スタイルを活かして進められるメリットがあります。

これからの在宅医療における訪問看護師の役割

◇現状

- ・介護ニーズと医療ニーズを併せ持つ高齢者の増加
- ・多職種連携
- ・対象の拡大：高齢者、精神疾患、小児等
- ・自宅（住まい）の多様化
- ・医療の機能分化・在院日数短縮化

- ・ネットワークの構築
- ・看-看連携
- ・多職種や行政等との連携
- ・マネジメント力
- ・コーディネーター機能

◇点から面へ

地域の拠点としての訪問看護へ繋ぐ・埋める・広げる～
(望月会長のスライドより)

1 平成 26 年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル開講です

8月20日、新カリキュラム初の研修がスタートしました。セカンドレベル研修は、現場の看護管理者が対象の研修です。組織のリンクギンである中間管理者が担当部署を変革することで、所属施設の医療・看護の質向上につながります。

34名の研修生が11月20日まで180時間、受講します。統合演習として「看護管理実践計画書」を作成し、研修後に現場で実践です。計画書作成から実践まで、現場の皆様にご協力を頂くこともありますので、よろしくお願い致します。

認定看護管理者の研修ではどのコースも、研修生が積極的・主体的に学び、講師の方々から楽しく講義できたと評価をいただいています。一回り大きく成長した姿で現場に戻りますので、ご期待ください。



2 シミュレーション教育

7月12、13日、埼玉医科大学総合医療センターより野村雅子先生をお招きして、看護基礎教育、現任教育で注目され始めている「シミュレーション教育」の講義・演習を行いました。臨床判断能力を含めた実践能力を高めるため、臨床状況の重要な要素や局面を再現する方法は、これまでもロールプレイ方式等で試みられてきましたが、現在は様々なシミュレーターを用いて、リアリティのある教育プログラムを自分たちで構築する方法に変わってきております。病院におけるシミュレーション教育のメリットは、迅速かつ主体的に臨床判断を行わなければならない状況を意図的に再現し、受講者・企画者ともに思考過程を整理しながら、看護師として自分がとるべき行動や判断をじっくりと考えることができることにあります。そのため研修対象は新人だけではなく、キャリアのある看護師も、自分の判断能力の確認や中堅としての役割理解をすることができるため、現任教育に有効な教育手段として広まりつつあります。本研修では、参加された研修生が2日間の講義で得た知識や体験をもとにシナリオを作成して実際に演習を行い、役割体験を通して、ディブリーフィングや課題達成のための設定の難しさを実感しました。この体験をそれぞれ病院に持ち帰り、病院ごとの特徴を生かしたシミュレーション教育プログラムが作成できることを目標に、看護協会教育研修部では今後も研修を継続していきたいと考えています。



教育委員会 駒井裕子

3 「認知症患者の看護Ⅰ」 - 知っておきたい知識 -

「認知症患者の看護」研修は昨年に引き続き2年目となりました。今年度は受講者の要望を取り入れ、段階別に分け、2段階で行われます。第一回目の今回の研修は「認知症施策推進5ヶ年計画（オレンジプラン）」の一環として県の推進事業と共同開催いたしました。

研修応募数は、366名であり、定員の200名を大幅に超えました。最終的には、341名の受講者が、6月30日の研修に参加されました。講師は、認定看護師に加え、在宅・地域における看護についても学びを深められるよう、地域連携に関わる講師を3名迎えました。

1日研修ではありましたが、認知症看護を実際に実践しながら、活躍されている講師の体験談に、研修生が引き付けられ、積極的な姿勢で研修を受けることに繋がっていきました。認知症看護について、新しい知識を学び、自身の看護について振り返る機会になったようで、今年度も高評価を得ることができました。

高齢者の持つ健康問題の中で、認知症は増加し続けています。看護の対象としても、認知症患者が大きな割合を占めており、認知症患者を理解し、看護実践に活かすことのできる看護師が求められています。認知症患者の看護を実践していくためには、認知症患者の基礎知識や在宅・地域における認知症看護の現状を理解していく必要があります。認知症患者の看護を実践できる看護師を育成していくため、次年度も同研修を企画していきたいと考えております。

教育委員会 松井順子



お知らせ

日本看護協会 インターネット配信研修[オンデマンド]のご案内

個人で、施設で、インターネットを使って簡単に受講できます。また、配信期間中なら都合の良い時間に繰り返し受講することができます。10月以降に申し込みできる研修は3本、「研修番号108 高齢者介護施設における看護とマネジメント」「研修番号109 助産師のキャリアパス・クリニカルラダーの基礎的理解」「研修番号110 一般病院における認知症ケアの質向上のための看護管理者の役割」です。御案内のチラシを各施設に送付しましたので併せてご覧ください。静岡県看護協会では開催はしませんので、オンデマンドをご活用ください。

ナースセンターだより

様々な工夫で離職率減少!!

平成26年(平成25年度分)静岡県内病院に勤務する看護職員の退職状況調査結果が出ました。
調査は県内182の施設にお願いし、124施設(有効回収率68.1%)から回答を頂きました。
ご協力ありがとうございました。



●平成25年度看護職員の入退職状況

年度内 入・退職者数	入職者数		退職者数	
	H24年	H25年	H24年	H25年
新卒者	974	1,035	76	54
既卒者 (1年以内の退職)	940	895	1,455 (116)	1,380 (107)
合 計	1,914	1,930	1,531	1,434

【退職理由】

<新卒者>

1位:健康上の問題(精神) 2位:適正・能力の不安
3位:結婚・他の職場への興味(看護)・職場内人間関係・Uターン

<既卒者>

1位:他の職場への興味(看護) 2位:結婚(転居)
3位:子育て(専念したい)

●看護職員の離職率の推移

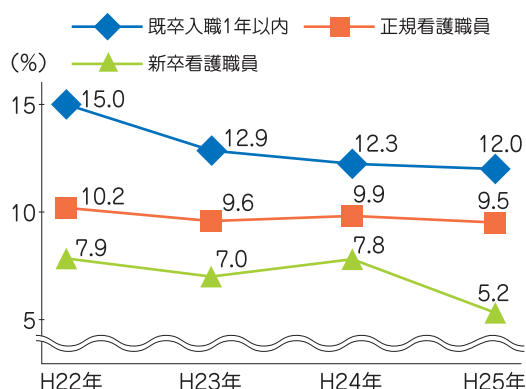
看護職員の離職率は、前年度と比較し看護職員(正規)では0.4ポイント減少し9.5%、新人の離職率も2.6ポイント減少し5.2%でした。既卒で入職1年以内の離職率は0.3ポイント減少し12.0%でした。これらは、各施設が教育研修体制の見直しをはじめ、多様な勤務形態の導入や子育て支援の充実等の様々な工夫を行っている結果と思われます。

*この調査結果の詳細は、ご協力いただきました県内の看護代表者にご報告いたしました。

【離職防止対策で効果のあったもの】

1位:子育て支援 2位:多様な勤務形態 3位:教育研修体制

看護職員の離職率の推移



●平成26年度静岡 看護職のための合同就職相談会

～開催日時・会場変更のお知らせ～

前号で「東部」、「中部・西部」2会場開催をお知らせしましたが、看護職の生活の場に近いところで、身近な医療施設の情報を得ていただくために西部も単独会場としました。

再就業や定年退職などで次の職場を考えている方、地域の施設の情報を直接得るチャンスです。再就業した方からもお話を聞くことができます! お気軽にご参加ください。

会 場	三島会場	静岡会場	浜松会場
開催日	12月6日(土)	12月13日(土)	11月29日(土)
時 間	11時～15時30分	11時～15時30分	11時～15時30分
会 場	三島商工会議所	グランシップ10階	アクトシティ研修交流センター5階
出展予定施設数	40施設	50施設	25施設

●研修のお知らせ

セカンドキャリアセミナー、中間管理者研修の2つの研修日程が決まりました

研修名	セカンドキャリアセミナー	中間管理者研修
日 時	12月2日(火)	12月18日(木)
目 的	中堅看護職が看護や人材育成に自己の特性・能力を発揮し活きいきと働き続けられるために	中間管理者として自己を振り返り役割を認識しブラッシュアップ!

申込時期など詳細はホームページに掲載します。大勢の方のご参加をお待ちしています!

●再就業準備講習会のお知らせ

再就業を考えていらっしゃる方一歩踏み出してみてください!また皆さんの周囲に未就業の看護職の方がいらっしゃったら声をかけてください!

市立島田市民病院 10月 8日(水)～10日(金)
静岡済生会総合病院 10月28日(火)～30日(木)
中東遠総合医療センター 11月18日(火)～20日(木)
聖隷沼津病院 12月 8日(月)～10日(水)

悩みは誰かに話しましょう。

話した内容が他の人や職場に伝わることはありません。
お気軽にご利用ください。

【専用ダイヤル】054-202-1780

日 時	平日 9時～16時	TEL 054-202-1780
場 所	静岡県看護協会 会館	
日 時	毎月第1金曜日 10時～15時	予約制 専用ダイヤルへ
場 所	看護協会西部地区支部事務所	
日 時	毎月第3金曜日 10時～15時	
場 所	看護協会東部地区支部事務所	

助産師
職能委員会

いいお産の日

申込み不要
直接会場へどうぞ

- テーマ 支えあういのち～心と体をはぐむ力～
- 日時 平成26年11月22日(土) 10:00～15:00
- 場所 アピタ静岡店(静岡市駿河区石田1丁目5-1)
- 内容 赤ちゃん体験・お産〇×クイズ
赤ちゃん体操・ひめトレ(骨盤底筋群体操)
妊婦服、補助食品の展示
助産師活動写真展示・妊婦体験 など
- 問合せ先 総務部 TEL.054-202-1750

看護協会
事業部

秋の健康イベント「まちの保健室」

しずおか元気応援フェア2014

- 日時 平成26年10月11日(土)～12日(日)10:00～16:30(12日は16:00迄)
- 場所 ツインメッセ静岡北館

メディメッセージ2014

- 日時 平成26年10月25日(土)～26日(日)10:00～16:30
- 場所 ツインメッセ静岡北館

あざれあメッセ2014

- 日時 平成26年10月25日(土)10:00～16:00
- 場所 あざれあ

- 問合せ先 事業部 TEL.054-202-1770

医療安全情報 平成26年度 第3弾

医療安全推進のための標準テキストから ～医療安全推進のための基本的な考え方～

働き続けられる
職場づくり推進委員会

今回のテーマ “医療事故発生時の初期対応”

事故発生時の対応の遅れは、患者の生命や予後に大きな影響を及ぼします。いかなる事故であっても、患者の生命および健康と安全を最優先に考え、行動することが求められます。

事故発生直後の対応と報告

事実確認

- ・医療事故に関連した正確な情報を収集し、事実を確認する。
- ・医療事故に関わった各医療スタッフから情報を収集し、それらを統合して正確な事実をまとめる。

現場の保全

- ・患者に使用した医療品や医療機器、チューブやルート類、シリンジ等の医療材料、また、寝具類等は、破棄したり移動したりせず、そのままの状態での保存。必要に応じてデジタルカメラ等を用いて現場の状況を画像等でも記録しておく。

報告

- ・事故発生時には、医療機関内の取り決めに基づき、医療安全管理部門や医療安全管理責任者への報告を行う。

看護記録は医療訴訟等で証拠になることも認識しておかなければならず、看護記録の基準・手順に、医療事故発生時は原則、記録方式を経時記録に変えることを明示することが大切です。また、重大医療事故が発生した場合、入院時点までさかのぼって記録物の提出が求められることもあります。看護職は、記録の重要性を十分に意識して、事故発生時の対応を行っていく必要があります。

「医療安全推進のための標準テキスト」は日本看護協会のHPからもダウンロードできます。

公益社団法人 日本看護協会看護開発部看護事業課 URL:<http://www.nurse.or.jp>



クオカードが当る!

次の4文字熟語の□に入る語を並びかえてひとつの熟語を作ってください。

□ 進 □ 歩

記 □ 会 □

答え.

□ □

応募方法

葉書又はメールに答えをお書きのうえ、下記にお送り下さい。正解者の中から、抽選で5名の方にクオカード(1,000円分)を差し上げます。当選者はVol.4に掲載致します。(ペンネーム可)

●下記を記入の上応募してください

- ◆答え ◆氏名 ◆所属 ◆電話番号 ◆〒 ◆住所
- ◆看護しずおかの感想 ◆看護協会への御意見

お寄せいただいた御意見・御感想は、看護しずおかに掲載させていただくことがあります。

●締め切り: 10月20日(月)消印有効

●宛 先: 〒422-8067 静岡市駿河区南町14-25
静岡県看護協会 総務部 看護しずおかクイズ 係
メールアドレス: kango@shizuoka-na.jp

当選者

●クイズ(vol.2)答え: セタ

●当選者: 北原祐加様・鈴木里美様・ペンネーム こーくん様
杉山陽子様・ペンネーム CREA様